

参考5

平成19年度 指定法人の引取実績及び再商品化製品量

平成19年度に財団法人日本容器包装リサイクル協会が市町村から引き取りを行った分別基準適合物の量(指定法人引取実績)、及びこれを再商品化し、再商品化製品(ガラスの場合はカレット、ペットボトルやプラスチック製容器包装の場合、フレークやペレット等をさす。)とした量(再商品化製品量)は以下のとおり。

品目	指定法人引取実績 (トン)	再商品化製品量 (トン)
無色のガラス製容器	101,460	95,172
茶色のガラス製容器	119,210	112,690
その他の色のガラス製容器	112,703	108,426
紙製容器包装	27,860	27,083
ペットボトル	140,013	111,847
プラスチック製容器包装	581,340	381,163
プラスチック製容器包装 (うち白色トレイ)	865	810
プラスチック製容器包装 (うち白色トレイを除く)	580,475	380,353

(財団法人日本容器包装リサイクル協会データ)